

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

演題：

ヒト iPS 細胞とゲノム編集技術による新たな病態解析
— ダウン症候群をひとつの例として —

講師： 北畠 康司 先生

大阪大学大学院医学系研究科 助教

日時： 平成 27 年 6 月 24 日(水) 17:00 ~ 19:00

場所： M&Dタワー2階 共用講義室1

要旨：

近年注目を集めている‘ゲノム編集技術’の登場により、これまで不可能であったヒト難治性疾患の病態モデルを構築することができると期待されている。

我々は臍帯血由来ヒト iPS 細胞と TALEN・CRISPR/Cas9 システム、さらに染色体工学を駆使することで、ダウン症候群における造血異常の解明に取り組み、その病態責任領域ならびに重要遺伝子の同定に成功した。

本セミナーではゲノム編集とはなにか、医学研究においてどのような可能性を秘めているのかについて分かりやすくお話ししたい。

【連絡先】発生発達病態学分野 森尾 友宏 (内線 5245)